

「保健医療科学」
第68巻 第5号 予告

特集：国連「持続可能な開発目標（SDGs）」とわが国の公衆衛生活動（仮題）

持続可能な開発目標（SDGs）の背景と国際展開（仮題）	杉下智彦
わが国の自治体における健康づくり対策を基盤としたSDGs推進プログラム（仮題）	三浦宏子
保健医療サービス提供体制—人材確保とSDGs—（仮題）	児玉知子
日本の経験を応用した“栄養と非感染性疾患（NCD）に関連する持続可能な開発目標（SDGs）”のモニタリングの可能性（仮題）	石川みどり
SDGsとたばこ規制枠組条約によるたばこ対策（仮題）	樺田尚樹
ヘルス・セキュリティと持続可能な開発目標（SDGs）（仮題）	斎藤智也
SDGs達成に貢献する保健医療人材の育成（仮題）	大澤絵里

編 集 後 記

本誌の編集作業をしている頃、台風15号が千葉に上陸し甚大な被害をもたらした。多くの地で停電や断水が発生したが、その状況把握がなかなか進まず、不便を長引かせる一因となった。千葉の一部地域では井戸水を電気ポンプでくみ上げており水道ではなかったこと、また水を利用できない原因が停電であること等から断水とカウントされず、給水の支援が遅れた地域があった。また海外からの移住者が雨戸というものを知らずに、台風直撃前に閉めておらず被害が拡大したことや、日本語での会話が難しく、市役所とのやりとりもままならないと困り果てた方の報道も目にした。これらは、まさに文化の違いによる被害の拡大とも言える。

この編集後記の執筆中には、台風15号の勢力を上回る台風19号が日本列島に上陸・通過し、広い地域でいくつもの川が氾濫した。この台風の影響により、長野市では120両もの新幹線が水没するなど、近年想像をはるかに超える災害が各地でたびたび起きるようになった。

今後、ますます海外からの流入は増え、高齢者がさらに増える地域もあれば、すでに人口減少が始まっている地域もあり、人も地域も多様化する一方で、災害の威力も発生場所も変わってきている。これらに少しでも備えるためには、本特集で取り上げたように、有識者、医療者、地域の住民の様々な視点でそれぞれの立場ができることを、地域ごとに蓄積していくことが求められよう。

（医療・福祉サービス研究部 森山葉子）